

平成20年度事務事業評価表	担当	産業環境部 環境課	内線等	1282
---------------	----	-----------	-----	------

事務事業名	公害苦情処理事業			
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)				
基本目標	1. 人と自然が共生する潤いあるまちづくり	施策名	環境保全	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

対象(受益者)	市民・事業者全般に
手 段	公害に関する苦情を適切に処理することにより
成果、目標	生活環境の保全を図る

成果指標

成果指標名	公害苦情増加率	苦情解決件数		
成果指標の説明	(該当年度苦情処理件数 / 基準年度[平成16年度]) × 100	(苦情解決件数 / 苦情受付件数) × 100		
指標の推移	平成19年度決算(実績)	平成20年度決算(実績)	平成21年度予算(計画)	
成果指標	103.0%	137.6%		
成果指標	98.6%	100.0%		

事業の概要

項 目	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度計画
典型7公害件数	71件	71件	
廃棄物 (不法投棄等)	64件	100件	
その他	2件	12件	
合計	137件	183件	

事業にかかる人工

(単位：人)

人工計	1.30人	次長 課長級	0.10人	補佐級	0.40人	係長級	0.40人	一般職	0.40人	非常勤	0.00人	再任用	0.00人
-----	-------	-----------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

人件費を含む事業費	事業費	615
	人件費	10,440
	合計	11,055
財源内訳	特定財源	0
	一般財源	11,055

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	騒音、振動、悪臭など法令、条例等で市の指導権限がある苦情処理については現行どおり市が実施し、その他の指導権限がないものについても対応は行うが、解決がされない場合は権限のある国、県等に指導を求める。
-------------	----	--

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
------	-------------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野焼き等の通報頻度の高い苦情に対して、分りやすいチラシを持参しわかり易く説明を行う。</li> <li>・データ整理を行い、再度の苦情に対しては過去の資料を持参し強く指導を行う。</li> <li>・不法投棄に対する自己防衛方法のPR及び指導。</li> <li>・解決が難しい公害についての公害紛争処理制度(愛知県)への紹介。</li> </ul>
現在の課題、問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家電リサイクル法対象品、処理困難物(タイヤ、有害物質、FRP)などの不法投棄物の処理費に多額の費用がかかる。</li> <li>・法規制外の公害等に対して、全ての苦情が寄せられるため、苦情件数が膨大となり現在人員で細かい対応が困難である。</li> <li>・一度苦情に対して解決を見ても再発する場合があります、二度、三度と同じ苦情に対して指導を行う場合がある。</li> </ul>
今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情内容が多岐に亘り、本来施設管理者が対応すべき苦情も多く処理を行っているため、他課との協力体制を築く。</li> <li>・相隣関係のトラブルによる苦情についてはできる限り本人同士の解決を行うよう導く。</li> <li>・地域住民が公害の未然防止が図れる体制作りの協力依頼および誘導をする。</li> </ul>